

恋愛と結婚の心理学

科目ナンバリング EDP-107

選択 2単位

茂垣 まどか

1. 授業の概要(ねらい)

生涯未婚率が上昇しているが、青年への調査では「いつかは結婚したい」という意見も多くみられる。一方、恋愛など縁がないと考える青年もいる。社会的にも、結婚や交際、配偶者選択に関する価値観の多様化やその背景の1つとなる経済状態の変化など、青年や初期成人を取り巻く環境は大きく変動している。その中で、青年の恋愛や結婚にまつわる悩みも散見され、その悩みの方向性も様々である。本講義では、恋愛と結婚について、Eriksonの人格理論にもとづき解説する。この授業では、教員による解説だけでなく、学んだ理論を用いて各受講生が自己分析や人間関係の分析を行う。

2. 授業の到達目標

Eriksonの人格理論を理解し、説明することができる。

Eriksonの人格理論にもとづき、自己分析し、対人関係や心理的な葛藤について分析することができる。

3. 成績評価の方法および基準

LMSを利用した中間試験10%、期末試験40%、学期末レポート50%で総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

指定しない。資料を用いて授業を進める。

参考文献

E. H. Erikson(著)西平直・中島由恵(訳) アイデンティティとライフサイクル 誠信書房

大野久・小塩真司・佐藤有耕・白井利明・平石賢二・溝上慎一・三好昭子・若松養亮(編著) 君の悩みに答えよう―青年

心理学者と考える10代・20代のための生きるヒント 福村出版

大野久(編著) エピソードでつかむ青年心理学 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

事前に配布・指定した資料や書籍を読んでくる必要がある。

授業で配布した資料、ノートなどを読んで復習し、LMSを利用した中間試験を受験する必要がある。

6. その他履修上の注意事項

学んだ心理学的知識をてがかりに、自らの心の動きに気を配り自己洞察する姿勢が求められる。

第1回イントロダクションに必ず出席し、この授業の進め方をよく理解したうえで受講すること。欠席した場合の不利益が大きいので注意すること。

授業計画は、進行状況に応じて調整する場合がある。

7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション

【第2回】 精神分析的な「こころ」のよみかた

【第3回】 漸成発達理論とはなにか

【第4回】 アイデンティティとは何か

【第5回】 アイデンティティ形成に至る人格発達のプロセス1:愛情の発達

【第6回】 アイデンティティ形成に至る人格発達のプロセス2:自己意識の発達

【第7回】 青年期の交際:アイデンティティのための恋愛

【第8回】 恋愛に関する否定的アイデンティティ

【第9回】 恋愛と性

【第10回】 親密性の発達

【第11回】 親密性の発達に関する個人差

【第12回】 愛の本質的特徴

【第13回】 配偶者選択と親子関係(心理的離乳)

【第14回】 世代継承性の発達

【第15回】 まとめ